

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(昼間部)		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	解剖生理学Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年次		学期及び曜時限	前期	教室名	第3校舎901教室
担 当 教 員	星野 貴志	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
解剖生理学では、診療放射線技師として医療にたずさわるために必要な生体の構造と機能、免疫システムについて学ぶ。特に重要と考えられる肉眼的解剖について、名称、形態、相互の位置関係等を習得する。解剖生理学Ⅲでは、骨盤・下肢領域の構造と機能、画像解剖を理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験(70%) 出席点(20%) 平常点(10%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書「入門人体解剖学」藤田恒夫 著 南江堂 「若葉マークの画像解剖学」磯辺智範 編 MEDICAL VIEW						
《授業外における学習方法》						
シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、使用教科書等を用いて事前学修(予習・復習)すること。						
《履修に当たっての留意点》						
解剖生理学は医療従事者にとって必須の科目であり、臨床医学を学ぶ上での土台となります。また国家試験でも、幅広い知識が問われます。授業のみでは理解は深まりませんので、積極的に予習・復習を行う習慣を身につけましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨盤、下肢帯の部位名称を列挙できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。	
		各コマにおける授業予定	骨盤、下肢帯の解剖生理			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨盤部内臓の部位名称を列挙できる。 骨盤部内臓の位置関係を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。	
		各コマにおける授業予定	骨盤部内臓の解剖生理			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	泌尿器、生殖器、会陰部の部位名称を列挙できる。 泌尿器、生殖器のはたらきを説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。	
		各コマにおける授業予定	泌尿器、生殖器、会陰部の解剖生理			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨盤部を構成する骨の名称と位置関係を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。	
		各コマにおける授業予定	骨盤部の単純X線画像解剖①			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨盤正面像で描出される部位の名称を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。	
		各コマにおける授業予定	骨盤部の単純X線画像解剖②			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	単純X線検査の各撮影法で描出された骨盤部の名称を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	骨盤部の単純X線画像解剖③		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨盤部の各臓器の位置関係を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	骨盤部のX線CT画像解剖①		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨盤部でX線CT画像により描出される臓器の名称を列挙できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	骨盤部のX線CT画像解剖②		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	X線CT画像で描出される骨盤部各臓器の位置関係を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	骨盤部のX線CT画像解剖③		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	造影X線CT画像で描出される骨盤部の各器官を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	骨盤部のX線CT画像解剖④		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	造影X線CT画像で描出される骨盤部領域の各血管の名称を列挙できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	骨盤部のX線CT画像解剖⑤		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	造影X線CT画像で描出される骨盤部領域の各血管の位置関係を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	骨盤部のX線CT画像解剖⑥		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨盤部でMRI画像により描出される臓器の名称を列挙できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	骨盤部のMRI画像解剖①		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	MRI画像で描出される骨盤部各臓器の位置関係を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	骨盤部のMRI画像解剖②		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	MRI画像で描出される骨盤部各臓器の位置関係を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	骨盤部のMRI画像解剖③		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(昼間部)		科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科目名	解剖生理学Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (2) 時間(単位)
対象学年	2年次		学期及び曜時限	前期	教室名	第3校舎901教室
担当教員	星野 貴志	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
解剖生理学では、診療放射線技師として医療にたずさわるために必要な生体の構造と機能、免疫システムについて学ぶ。特に重要と考えられる肉眼的解剖について、名称、形態、相互の位置関係等を習得する。解剖生理学Ⅲでは、骨盤・下肢領域の構造と機能、画像解剖を理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験(70%) 出席点(20%) 平常点(10%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書「入門人体解剖学」藤田恒夫 著 南江堂 「若葉マークの画像解剖学」磯辺智範 編 MEDICAL VIEW						
《授業外における学習方法》						
シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、使用教科書等を用いて事前学修(予習・復習)すること。						
《履修に当たっての留意点》						
解剖生理学は医療従事者にとって必須の科目であり、臨床医学を学ぶ上での土台となります。また国家試験でも、幅広い知識が問われます。授業のみでは理解は深まりませんので、積極的に予習・復習を行う習慣を身につけましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨盤部領域の各血管の名称と位置関係を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。	
		各コマにおける授業予定	骨盤部の血管造影画像解剖			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	超音波画像で描出される骨盤部各臓器の名称を列挙できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。	
		各コマにおける授業予定	骨盤部の超音波画像解剖①			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	超音波画像で描出される骨盤部各臓器の名称を列挙できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。	
		各コマにおける授業予定	骨盤部の超音波画像解剖②			
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	核医学検査画像で描出される骨盤部各臓器の名称を列挙できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。	
		各コマにおける授業予定	骨盤部の核医学検査画像解剖			
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨盤部における各種検査画像解剖について説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。	
		各コマにおける授業予定	骨盤部まとめ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨盤部における各種検査画像解剖について説明できる。	特になし	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	確認テスト(中間テスト)		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	下肢骨格の名称を列挙できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	下肢の骨格(解剖生理学 I 復習)①		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	下肢骨格の名称を列挙できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	下肢の骨格(解剖生理学 I 復習)②		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	下肢骨格の名称を列挙できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	下肢の骨格(解剖生理学 I 復習)③		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	下肢の関節を構成する骨の名称を列挙できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	下肢の関節(解剖生理学 I 復習)①		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	下肢の関節を構成する骨の位置関係を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	下肢の関節(解剖生理学 I 復習)②		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	下肢の関節の機能を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	下肢の関節(解剖生理学 I 復習)③		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	下肢の筋、靭帯の名称を列挙できる。 下肢の筋、靭帯の位置関係とそれぞれのはたらきを説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	下肢の筋、靭帯		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	下肢の血管名を列挙できる。 下肢血管の位置関係を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	下肢の血管		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	下肢の神経を列挙できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	下肢の神経、皮神経		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(昼間部)		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	解剖生理学Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年次		学期及び曜時限	前期	教室名	第3校舎901教室
担 当 教 員	星野 貴志	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
解剖生理学では、診療放射線技師として医療にたずさわるために必要な生体の構造と機能、免疫システムについて学ぶ。特に重要と考えられる肉眼的解剖について、名称、形態、相互の位置関係等を習得する。解剖生理学Ⅲでは、骨盤・下肢領域の構造と機能、画像解剖を理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験(70%) 出席点(20%) 平常点(10%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書「入門人体解剖学」藤田恒夫 著 南江堂 「若葉マークの画像解剖学」磯辺智範 編 MEDICAL VIEW						
《授業外における学習方法》						
シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、使用教科書等を用いて事前学修(予習・復習)すること。						
《履修に当たっての留意点》						
解剖生理学は医療従事者にとって必須の科目であり、臨床医学を学ぶ上での土台となります。また国家試験でも、幅広い知識が問われます。授業のみでは理解は深まりませんので、積極的に予習・復習を行う習慣を身につけましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第31回	講義形式	授業を通じての到達目標	下肢の各関節を構成する骨の名称と位置関係を説明できる。	教科書 配布資料		プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	下肢単純X線画像解剖①			
第32回	講義形式	授業を通じての到達目標	下肢の各関節を構成する骨の名称と位置関係を説明できる。	教科書 配布資料		プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	下肢単純X線画像解剖②			
第33回	講義形式	授業を通じての到達目標	下肢の各関節を構成する骨の名称と位置関係を説明できる。	教科書 配布資料		プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	下肢単純X線画像解剖③			
第34回	講義形式	授業を通じての到達目標	X線CT画像で描出される下肢各関節の位置関係を説明できる。	教科書 配布資料		プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	下肢X線CT画像解剖①			
第35回	講義形式	授業を通じての到達目標	X線CT画像で描出される下肢各関節の位置関係を説明できる。	教科書 配布資料		プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	下肢X線CT画像解剖②			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第36回	講義形式	授業を通じての到達目標	X線CT画像で描出される下肢各関節の位置関係を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	下肢X線CT画像解剖③		
第37回	講義形式	授業を通じての到達目標	MRI画像で描出される下肢各関節の位置関係を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	下肢MRI画像解剖①		
第38回	講義形式	授業を通じての到達目標	MRI画像で描出される下肢各関節の位置関係を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	下肢MRI画像解剖②		
第39回	講義形式	授業を通じての到達目標	MRI画像で描出される下肢各関節の位置関係を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	下肢MRI画像解剖③		
第40回	講義形式	授業を通じての到達目標	下肢血管の各名称と位置関係を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	下肢血管造影画像解剖①		
第41回	講義形式	授業を通じての到達目標	下肢血管の各名称と位置関係を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	下肢血管造影画像解剖②		
第42回	講義形式	授業を通じての到達目標	下肢血管の各名称と位置関係を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	下肢血管造影画像解剖③		
第43回	講義形式	授業を通じての到達目標	超音波画像で描出される下肢各部位の位置関係を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	下肢超音波画像解剖①		
第44回	講義形式	授業を通じての到達目標	超音波画像で描出される下肢各部位の位置関係を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	下肢超音波画像解剖②		
第45回	講義形式	授業を通じての到達目標	下肢領域における各種検査画像解剖について説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	下肢領域まとめ		